

ありがとう、大塚選手

THANK YOU RIO

大塚理央
引退特集

Special feature



Last Run

2020
01/26

第68回
勝田全国マラソン

大きく成長できた3年間

憧れだった実業団で陸上に打ち込むことができ、辛いことや苦しいこともたくさんありましたが、毎日が充実した日々でとても幸せでした。
競技力だけではなく、人としても大きく成長させていただきました。
また、家族やスタッフ、良いチームメイト、いつも温かい応援をしてくれた皆さん、本当にたくさんの方々を支えられて続けていくことができました。
競技生活の中で学んだことを、これからの人生にしっかりと活かしていきます。



これまでの軌跡 ～3年間を振り返って～

● 2017年4月

日立女子陸上競技部 入部

● 2017年6月30日

第72回茨城県陸上競技選手権大会

1500m 優勝
4分38秒36

自己新



● 2018年2月18日

第11回石岡つくばねマラソン

10km 優勝
36分21秒

自己新



● 2018年4月7日

茨城県陸上競技国体予選会
兼第1回記録会

1500m 優勝
4分45秒15



● 2019年5月19日

第61回東日本実業団陸上競技選手権大会

3000mSC 4位
12分09秒



● 2019年7月6日

第74回茨城県陸上競技選手権大会

3000mSC 優勝
11分20秒94



● 2019年8月24日

第92回関東陸上競技選手権大会

3000mSC 優勝
11分10秒30

自己新



● 2020年1月26日

第68回勝田全国マラソン

10km 7位
37分19秒



みんなの アイドル



あどけなさが残る可愛らしい笑顔で、陸上界の厳しい中でもチームに優しい風を送っていた大塚理央選手。トラック競技や駅伝のほかにも積極的に3000m障害にチャレンジし、記録を伸ばしてきました。障害走は、トラック上にあるハードルを越え水濠を走り抜ける競技。スピードだけではなく複合的な要素を必要とするところにも挑戦し、自分の持つ世界を広げてきました。



RIO'S MESSAGE

3年間、たくさんの温かい応援をいただき本当にありがとうございました。ケガをして思うように走れずとても辛い時期もありましたが、職場の皆さんや多くの方が「頑張ってるね！」といつも明るく声を掛けてくださり、乗り越えてくることができました。支えられてばかりでしたが、自分自身が頑張ってきたことで少しでも元気を届けることができたり、走ることに興味を持ってもらえた人がいれば嬉しいです。引退後は会社に残り、これからは仕事に励みます。はじめは分からないことばかりで迷惑をかけることも多いかと思いますが、陸上で学んだことを活かし、これまで応援していただいたことへの感謝の気持ちを忘れずに笑顔で頑張っていきます！これからも日立女子陸上競技部への温かいご声援をよろしくお願いします！

大塚理央



たくさんの応援ありがとうございました！